

ヘーエンキルヒエン＝ジーガーツブルン
2017年6月22日

SYSGO 社とローターバッハ社：パートナーシップを強化

ドイツに本拠地を構えるリーディングカンパニーである SYSGO 社とローターバッハ社は、15 年間のパートナーシップを拡大して共同マーケティング契約を締結しました。TRACE32[®]ファミリのローターバッハ社のデバッグツールと SYSGO 社のオペレーティングシステムである PikeOS[®]を使用する共通のクライアントのサポートの強化、そして相互の新しいプロジェクトの立ち上げを目標としています。

このたび新しく締結された共同マーケティング契約は、両社の長期的な技術協力を補完し、リリース変更を含む様々な製品の互換性を保証します。ローターバッハ社は最近発表された ARM、ARM64、PowerPC、x86 等のプラットフォームに搭載される PikeOS 4.2 を既にサポートしています。さらに、TRACE32 には PikeOS 3.3 のようなリアルタイム OS 用に特別な機能が装備されており、両社の製品の理想的な相互補完が実現されています。PikeOS ハードウェアの仮想化もデバッグツールでサポートされています。

相互にマーケティングキャンペーンを行うことで、SYSGO 社とローターバッハ社は、セーフティクリティカルな組込みアプリケーションが使用されている業界のあらゆる分野においてグローバルなプレゼンスを確立したいと考えています。シナジー効果も加わり、両社の製品の組み合わせは、単一のハードウェアシステムにおける重要度が異なる統合アプリケーションの開発に最適です。このような統合は、SYSGO 社の PikeOS とローターバッハ社の TRACE32 が強力なポジションを確立している航空宇宙産業、自動車産業、鉄道産業、産業向けのモノのインターネット業界でますます需要が高まっています。

「ローターバッハ社との協業は、両社のお客様にとって様々な面で有益です。両社の製品は非常によく相互に補完します。また、両社の関係はとて近いので、新しいお客様特有の要件に迅速に対応することができます」と、SYSGO 社のマーケティング & プロダクト戦略担当副社長、Franz Walkembach 氏は述べています。

「お客様は PikeOS と TRACE32 の組み合わせにより、その他多くのプラットフォームよりもはるかに容易に開発に取り掛かることができます。弊社は PikeOS を他社より熟知しており、この環境向けに既存スクリプトやテンプレートを提供することができるため、開発の大幅な加速やエラー率の低減が可能です」と、ローターバッハ社の RTOS & CASE Integrations 担当システムエンジニア、Rudolf Dienstbeck は加えて述べています。

LAUTERBACH, TRACE32 μ Trace and other LAUTERBACH products and μ services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.